

パルシステム埼玉 2030年ビジョン(1次案)

これまでパルシステム埼玉では、組合員の普段の暮らしを支えるとともに、社会の直面する様々な問題に向き合い、協同の力で社会的な役割を果たしてきました。

この先も、気候変動・自然災害・人口減少・高齢化・格差と貧困・紛争…など、世界や日本における課題は様々あります。

協同組合であるパルシステム埼玉が、今後の10年で取り組むべきテーマとめざす姿を「パルシステム埼玉 2030年ビジョン」(1次案)として提案いたします。

理 念

《心豊かな暮らしと共生の社会を創ります》

ミッション

《互いに支え合って安心して暮らせる埼玉をつくります》

2030年ビジョン



食・農

持続可能な食の安全と安心を守りながら豊かな食文化と食生活を広げます。

《推進イメージの例》

- ・食育活動や商品学習をとおして、食への関心と商品を選ぶ力を向上
- ・気軽に参加できる産地交流や企画の場を提供し、生産者とふれあう機会を推進
- ・産地やメーカーが安定して生産できるよう、買い支える仲間づくりの強化

福祉・暮らし

助け合いの輪で誰もがいきいきと安心して暮らせる地域社会づくりを広げます。

《推進イメージの例》

- ・困りごとを気軽に相談できる機会を増やし、一人ひとりに寄り添った地域社会づくりの促進
- ・諸団体、行政と協力し、介護や子育てなどさまざまな地域の課題解決の推進
- ・パルシステムの事業と活動をととして地域の見守りを強化

環 境

一人ひとりが地球環境に配慮した「きりかえる」行動を暮らしの中に広げます。

《推進イメージの例》

- ・3R活動を推進し、資源循環型社会の構築
- ・環境にやさしい生活を提案し、環境保全活動の啓発
- ・再生可能エネルギーの普及などに努め、地球温暖化対策を推進

平 和

多様性を認め合い争いや格差のない命が大切にされる社会を広げます。

《推進イメージの例》

- ・戦争や原爆の恐ろしさを学ぶ機会をつくり、平和の尊さを次世代へ伝承
- ・諸団体や行政と協力し、差別や貧困、飢餓のない社会の実現に貢献
- ・多様性について学び理解することで、一人ひとりが大切にされる社会づくりを推進

《2030年ビジョンを実現させるための取り組み》

事業・経営

- ・事業・活動の改善及び革新をすすめ安定した経営基盤を築きます。
- ・暮らしの多様化に対応できる供給事業の改善や商品開発を進めるとともに保障事業を伝え組合員の暮らしを支えます。

人・組織

- ・職員一人ひとりが、パルシステムで働くことに誇りをもって活躍し続けられる組織をつくります。
- ・人材の確保と育成を強化し、多様な背景を持つ人たちが活躍できる組織づくりを推進します。
- ・組合員活動の新たな参加・参画の仕組みをつくり、活動の担い手づくりをすすめます。

2021年度 事業活動方針(1次案)

2021年度事業活動方針とは？

2021年度(1年間)での事業や活動における方針です。掲載のものは、事業活動方針一次案であり、いただいたご意見をもとに検討を重ね、最終案を2021年6月に行われる総代会に提案します。

I 社会経済情勢の激変に対応した運営や雇用面等の強化を図り、2030年ビジョン実現に向けた経営を行います。

【経営】

- ① 世界的感染症に対する経済の動きと足元の経営を見据えながら、総事業高(*1) ●●●億円、経常剰余率(*2) ●●●%を目指すとともに、パルシステムグループで手数料一部改定などの構造改革にも取り組み、安定した経営基盤を構築します。
- ② センター施設の容量超過や老朽化等の課題解決を目的に、行政区ごとの世帯数や人口増減などを考慮し、パルシステム事業の成長に対応できる配送拠点の移転及び設置(土地取得又は賃借)をすすめます。
- ③ 働きやすい職場環境づくりとして、健康増進や安全面の配慮、積極的な休暇取得などを行い、雇用の安定につなげます。
- ④ 生協の歴史や多様性の理解を深める学習を行い、理念、ミッションの実現を目指した次世代の職員を育成します。
- ⑤ オンライン技術を活用するための環境整備をすすめるとともに、ホームページとSNSや動画を連動させたデジタル広報を強化しながら、組合員への情報発信とコミュニケーション機能を充実させます。
- ⑥ 時代に合わせた組織の効率性と活性化のために、課題を整理しながら理事会体制や運営のあり方など、発展的改革に向けた論議を行います。
- ⑦ 10年目となった内部統制システム(*3)の見直しを行い、改めて役職員に向け、必要性和重要性の周知を行います。また、個人情報も含めた機密情報の取り扱いについて、情報セキュリティ事故を起こさない仕組みを強化します。

II 一人ひとりの暮らしに寄り添い、地域に根差した事業を展開します。

【パルシステム事業】

- ① 紹介試食会(プチパーティ(*4)等)の開催や、加入前に商品を実感できる「お試しセット」の広報を行い、新規組合員拡大をすすめるとともに、利用をお休みにしている組合員に向けて利便性の向上を案内し、利用組合員を増やします。
- ② CO・OP共済は、タブレット端末を活用して組合員の暮らしに寄り添った保障提案を行うとともに、制度内容や改定内容を広報し、地域にたすけあいの輪を広げます。
- ③ サービス事業(*5)の認知度向上をすすめ、食だけでなく組合員のくらしもサポートします。
- ④ 安全運転を最優先課題とし、運転技術や意識の向上を図り、事故の削減につなげます。更に、通信型ドライブレコーダーを個別指導に活用し、道路交通法を遵守します。
- ⑤ 見守り協定(*6)の締結による行政との連携をすすめるとともに、地域福祉の担い手として、見守り活動に継続して取り組みます。
- ⑥ ステーション供給(*7)の運営状況を検証し、将来の供給事業を安定させるための新たな商品供給スタイルについて、先進事例の視察など調査研究をすすめます。

III オンライン・オフラインの両面から、パルシステムの「食の安全・安心」と「環境活動」への理解と共感を広げます。

【食の安全・安心】

- ① 事業と活動が一体となり、「ほんもの実感!」くらしづくりアクション(*8)をすすめ、子育て層をはじめ幅広い世代へパルシステム商品の価値や食育活動を広げます。
- ② パルシステムのトップブランドであるコア・フード(*9)の取り組みや産直商品の理解を深めるため、生産者と組合員が交流し相互理解する機会をつくります。

※文中の●印は、現在調整中です。 ※注釈のつく用語は、用語説明をご確認ください。

- ③ 商品学習会や商品展示会等、産地やメーカーとの交流を通して、パルシステム商品を知る機会を増やし利用普及につなげます。
- ④ パルシステム埼玉独自商品の広報をより強化し、地産地消・交流・震災復興の商品企画を通して組合員の理解を広げ、生産者を応援します。

【環境】

- ① くらしの中で環境意識が高まる、省エネポテンシャル(*10)を喚起する活動に取り組み、事業所や家庭でできる地球温暖化対策を推進します。
- ② プラスチックに頼らない社会の実現に向けて、「プラ削減」マーク(*11)商品の利用や回収の広報を強化し、「わたしたち生活者ができること」を呼びかけます。また、3R(リデュース・リユース・リサイクル)活動を通してエコライフを推進します。
- ③ 「きれい!」をずっと 石けんアンバサダー(*12)を継続し、石けんの魅力を伝え、利用者を増やします。
- ④ 私たちの未来のために、安全で安心できるパルシステムでんきを推進します。また、発電産地との交流を通してエネルギーづくりに懸ける想いを共感する機会をつくります。

IV 組合員とともに活動や運動へ参加しやすい環境を整備し、学びの場や地域とつながる取り組みを広げていきます。

【活動と運動】

- ① 環境変化に対応した柔軟な活動の仕組みを検討し、地域に根差した組合員活動の更なる広がりを推進します。
- ② 自宅で参加できる企画や組合員活動登録説明会などを開催し、活動への参加と参画を広げます。
- ③ ばる★てらすの更なる活用を視野に、行政や他団体と連携した取り組みをすすめ、地域での認知度向上を図ります。更に、新たな地域活動施設の開設に向け、西部エリアでの物件調査を継続します。
- ④ 他団体と連携し地域課題を解決するための取り組みを行うとともに、組合員に向けたボランティア情報の発信や団体の情報提供を行い、地域でのつながりをつくります。
- ⑤ 平和活動週間(ピースウィーク)を設け企画を行うなど、核兵器廃絶の取り組みを強化し、戦争の恐ろしさと平和の尊さを伝えます。また、憲法について学ぶ機会をつくります。
- ⑥ 原発事故被災者応援金(*13)への呼びかけやスタディツアーを通して、東日本大震災の復興支援と風化防止に取り組みます。
- ⑦ 埼玉産直協議会『農・彩・土』(*14)の活動や神川町での大豆トラスト運動(*15)を通じて県内の地産地消を推進します。また、多様な生きものが生息できる環境を守り、人と自然の共生をすすめる里山保全活動に取り組みます。

V 社会的課題を行政や他団体と連携しながら、協同の力で安心して暮らせる地域づくりをすすめます。

【福祉・地域貢献】

- ① 認知症予防や健康寿命を延ばす学習会を開催し、高齢者の居場所づくりや社会活動への参加の機会をつくります。
- ② 行政や他団体と連携し、サロンの開催や困りごとを相談できる窓口の情報提供を行い、ケアラー(介護者等)支援に取り組みます。
- ③ 障がい者とふれあう機会をつくり、障がい者福祉への関心と理解を深めます。
- ④ 親子ふれあいサロン(*16)の定期開催や地域の活動団体と連携し、子育て相談や仲間づくりなど、孤立させないための支援に取り組みます。
- ⑤ パルシステムグループで取り組む「パルシステム給付型奨学金」(*17)の募金を組合員に呼びかけ、困窮家庭における「学び」を支援します。また、フードドライブ(*18)や青果の寄贈を行い、生活困窮者支援団体の取り組みを応援します。
- ⑥ 急増している消費者被害を防止するため、事例や対処方法について情報発信や学習会を行います。

用語説明

*1 総事業高

供給高(組合員にお届けする全商品の総額)とその他事業収入(パルシステム手数料収入、共済受託収入など)を合計した総額。

*2 経常剰余率

1年間の経営活動によって得られた経常剰余金の総事業高に占める率。

*3 内部統制システム

組織内部のリスクを掌握・管理し、事業活動に関わる全ての法令等を遵守することで組合の組織基盤を強化するために構築されたシステム。

*4 プチパーティ

組合員と組合員でないお友達が集まった場(組合員宅など)へ職員が伺い、パルシステム商品を使ったメニューを提供。実際に食することで、パルシステムの新たな商品発見や商品のよさを実感し加入につなげるための、お友達紹介の取り組み。

*5 サービス事業

エアコン(ハウス)クリーニング、不用品整理、葬祭事業、住宅事業等、パルシステムの幹旋(紹介)事業。

*6 見守り協定

配達の際、組合員や地域の高齢者などの異変に気付いた場合、行政等と事前に取り決めていた連絡先に速やかに連絡・通報を行うというもの。

*7 ステーション供給

組合員自身が曜日や時間を選び、配送センターで商品を受け取るサービス。

*8 「ほんもの実感!」くらしづくりアクション

「消費者一人ひとりの“選択”こそが世の中を変える力を持つ」という呼びかけのもと、パルシステムの「商品づくりの基本に沿って作られた商品(=ほんもの)」の価値を伝え、共感を広げる運動。(例:有機農産物やエコ・チャレンジ農産物の利用向上、プラスチック削減、遺伝子組み換え不使用、食品ロス削減など)

*9 コア・フード

有機JAS認証(化学合成農薬、化学肥料を使わない(※))を取得した農作物でパルシステムのトップブランド。※有機JAS認証での使用可能資材を除く。

*10 省エネポテンシャル

省エネ行動をすることによって期待できるCO₂削減効果、コスト削減効果等の潜在能力。

*11 「プラ削減」マーク

組合員が商品を選びやすくなるよう容器包装における環境負荷低減の取り組みをした商品に表示。



*12 きれい!をずっと 石けんアンバサダー

「石けん生活」を体験し広める活動に協力してもらう石けん商品のモニター。

*13 原発事故被災者応援金

正式名称は東京電力福島第一原子力発電事故被災者応援金。事故後の国による支援弱体化への対応として、被災者の保養や自主避難者(特に住宅)を応援する目的で募った、組合員募金を主としたパルシステムの制度。

*14 埼玉県産直協議会『農・彩・土』

産直産地の沃土会と南埼玉産直ネットワーク、パルシステム連合会、(株)ジーピーエス、パルシステム埼玉の5団体で設立。県内の農業と環境を守ることを目的に農業体験や交流事業を中心に活動。

*15 大豆トラスト運動

耕作放棄地を減らすための取り組み。組合員が大豆畑の一定区画にお金を出し、生産者とともに国産大豆を作ることで大豆の自給率向上を目指している。

*16 親子ふれあいサロン

毎週金曜日にばる★てらすにて開催している、親子を対象としたサロン。

*17 パルシステム給付型奨学金

学びの意欲を持ちながらも家庭環境や経済的理由等から進学が困難な若者の包括的支援を目的に奨学金を給付する、組合員からの募金を基本としたパルシステムの制度。

*18 フードドライブ

家庭で余っている食品を学校や職場などに持ち寄り、これらを地域の福祉団体や施設、フードバンクに寄付する運動。